

審査の結果の要旨

氏名 石原 康弘

本論文は、我が国の公共工事に適用される総合評価方式の技術評価方法における改善経緯や諸外国の総合評価方式における技術評価方法等を比較分析するとともに、国土交通省及び近畿地方の11府県市発注工事における総合評価方式の技術評価結果を統計的に分析することにより、現行の技術評価方法における課題を抽出し、技術評価の有効性を発揮させるための改善方法を提案することを目的としている。

第1章は序論であり、本研究の背景、目的とともに既往の研究と本研究の位置づけ、研究方法等を示している。

第2章では、我が国の総合評価方式の変遷を1998年から2001年までの「導入期」、2002年から2010年までの「普及・拡大期」、2006年以降の「変革期」に大別し、改善内容とその背景、効果等の関連性を踏まえ時系列に分析・評価を行うとともに、英国、米国、仏国、独国における総合評価方式と比較分析し、我が国の総合評価方式の特徴を明らかにしている。

第3章は、国土交通省発注工事の総合評価方式における技術評価結果を対象として、発注者の意図である技術評価項目の配点と、競争参加者の技術提案、施工能力等に関する技術力の差を表す得点を比較分析することにより、技術評価の現状を明らかにすることを目的としている。技術的な工夫の余地が大きい工事に適用される高度技術提案型の総合評価においては、技術評価の有効性は高いものの限定的であり、落札者決定においては価格評価の影響が支配的である。標準型においては、技術提案を重視する発注者の意図と異なり、競争参加者間における技術力の差は小さく技術評価結果に有効に活用されているとは言えない。技術的な工夫の余地が小さい工事に適用される簡易型においては、技術提案の配点は小さいにもかかわらず、競争参加者間の得点率やその差は大きく、発注者の意図と技術評価結果にミスマッチが生じており、いずれの方式においても技術評価が有効に活かされていないことが示されている。

第4章では、近畿地方の11府県市における発注工事を対象として、総合評価方式の適用範囲、評価タイプ等の技術評価方法を比較分析するとともに、和歌

山県における発注工事を対象に技術評価結果を分析し、地方公共団体における総合評価方式の技術評価の現状を明らかにすることを目的としている。近畿地方の11府県市においては、総合評価方式を導入したものの普及・拡大は進んでいない。これらの中で実施率が高く実施件数も増加傾向にある団体は、総合評価方式の適用範囲の下限値が低く、一般競争入札と総合評価方式の適用範囲の差が小さい。一方、実施率が低く、実施件数も減少傾向にある団体は、総合評価方式の適用範囲の下限値が高く、一般競争入札と総合評価方式の適用範囲の差が大きく、適用条件も曖昧なものが多い。これらは発注者によって決定される実施方針の影響と考えられる。また、総合評価方式の中でも簡易型タイプの制度設計は充実している一方、標準型タイプの制度設計は不十分な団体が多いこと、さらに、技術評価の有効性を発揮させるためには、価格競争の制限を行う必要があることが示されている。

第5章は、第2章から第4章における分析結果を踏まえ、総合評価方式における技術評価方法の課題を抽出するとともに、その改善方法を提案し、検証を行うことを目的としている。技術評価方法に関する課題として、価格評価と技術評価の合理的な関係の再構築、技術評価の有効性が発揮される方法への改善、受発注者の負担の軽減を抽出し、それぞれに対して具体的な改善提案を行っている。技術提案を求める場合には、予定価格の算出に「目標達成価格」を導入すること、設計を大幅に変更する提案を求める場合には、「技術提案・価格交渉型」を導入すること、競争参加者間の技術力の差が大きい評価項目を加算の対象とすること、技術評価点の算出方法をその得点差が大きくなるよう見直すこと、求める技術提案内容を厳選すること、公募型指名競争入札を「参加者資格審査型」として位置づけること等を提案している。さらに、「技術提案・価格交渉型」導入、及び技術評価方法の改善の効果については、一定の前提条件の下でシミュレーションを行った結果、その範囲で有効性が確認されている。

第6章は、本研究で得られた成果を纏めるとともに、今後の研究課題が示されている。

本研究は、我が国の公共工事に適用される総合評価方式の課題とその具体的な改善方策を提示しており、実務的貢献は極めて大きいものと評価される。また、我が国の総合評価方式の改善経緯や地方公共団体における総合評価方式の導入状況を体系的に整理するとともに、技術評価結果を発注者の意図と比較分析することにより改善に繋げる手法を提示しており学術的貢献も大きいものと認められる。

よって本論文は博士（工学）の学位請求論文として合格と認められる。